

令和4年度補正予算(総額13億7,768万9千円)を可決

9月
定例会

令和4年第5回9月定例会は、9月6日から9月29日まで開催され、議案21件及び報告6件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



西条直民
クラブ

佐伯利彦 議員



1 (一般質問)
認知症について

誰もが安心して暮らせるまちづくりを

問

令和3年3月に、スマートフォンを活用したゆるやかな高齢者見守り支援事業が終了したが、その後、認知症が原因と思われる徘徊に対して、地域における見守り支援などの取組をどのように行っているのか。

また、認知症は、早期発見、早期治療により進行を遅らせたり、とどめたりすることが可能であるとの研究もあるが、今後、認知症対策に、どのように取り組んでいくのか。

答

認知症のかたの行方不明事案として、市消防本部が把握している件数は、平成30年度4名、令和元年度1名、令和2年度1名、令和3年度1名、令和4年度8月末現在2名となっている。行方不明事案の発生は年間1、2名と減少しており、防災行政無線や西条市安全・安心情報お届けメールでの周知、また、ご家族・地域の協力による未然防止・早期通報の成果と考えている。

認知症のかたを地域で見守るしくみについては「認知症みまもりねっと」を実施しており、徘徊の心配のあるかたの情報を事前に登録し、シートを靴や衣類に貼り付けるとともに、企業や団体にも見守り協力機関として登録、協力いただくことで、行方不明になった場合の早期発見、保護につなげている。

今後の認知症対策については、早期発見に努めることが有効と認識しており、認知症予防・サポート人材の育成や見守り活動、本人の権利擁護に関すること、特に、地域での体制作りや認知症への理解を深める普及啓発活動については、更なる取組が必要であると考えている。認知症に対する支援の輪が広がるよう、あらゆる機会を捉えて情報を発信し、更なる周知・啓発に取り組みたい。

藤井武彦 議員



(一般質問)

1 県立高等学校の再編統合下における学校運営の在り方について
2 総合6次産業の推進について

地元高等学校への

進学促進を！



認知症みまもりねっとのステッカーやシール